

じん う にようかん い こう ぶ きょうさくしょう 腎盂尿管移行部狭窄症

医学研究所北野病院 小児外科

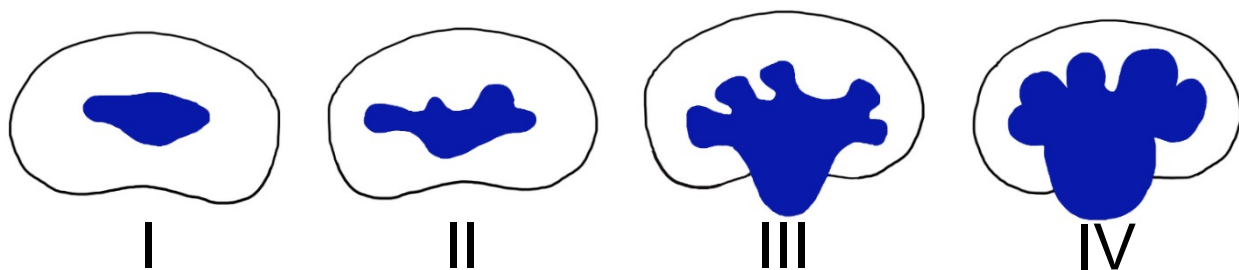
腎盂尿管移行部狭窄とは

おしっこは腎臓で作られて、腎盂(じんう)という部屋に集められ、そこから尿管を通して膀胱に貯められます。その腎盂と尿管の移行部が狭く通過障害を起こす状態です。腎盂内の圧が高まり、腎盂が拡張することを水腎症とよびます。最近では、妊娠中の超音波検査で見つかることも多いです。多くは無症状で、自然軽快することが多いです。しかし中には自然軽快せず、腎機能の低下を来す症例もあり、その場合外科治療を必要とします。

水腎症(腎盂の拡張の程度)によって、グレード I ~ IV に分けられます。



水腎症のグレード



腎盂尿管移行部狭窄の治療

(腎機能を守ることを目標とします)

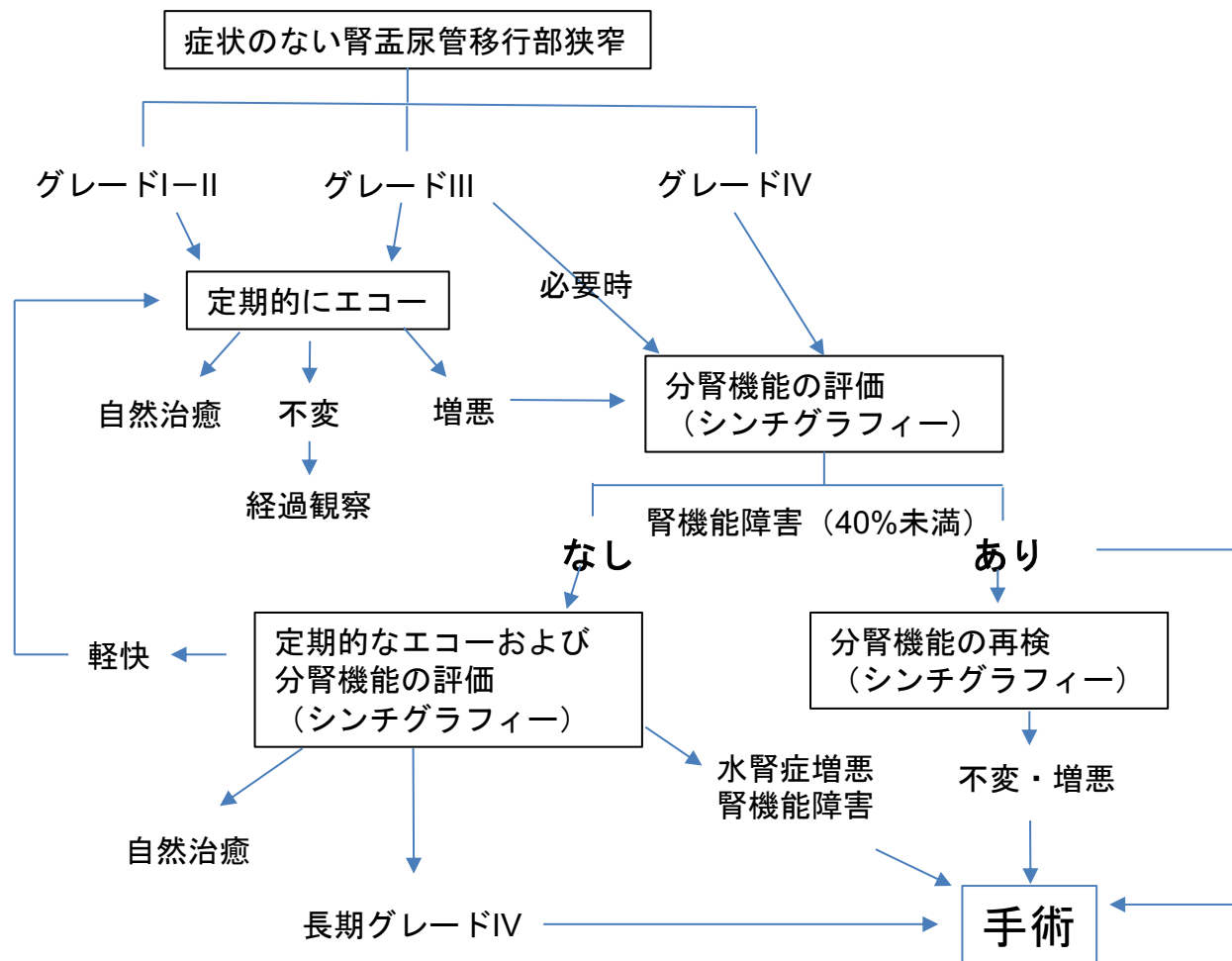
- ・症状があるとき(疼痛や感染)は手術が必要です。
- ・無症状の場合は、腎機能を低下がないか経過観察を行います。
- ・腎機能の低下があるときは、手術をお勧めしています。

外科治療を考える場合

1. 症状がある場合
2. 無症状
 - ・グレード3、4の水腎症で以下の場合
 - i) 分腎機能が40%未満
 - ii) 分腎機能の5%以上低下する
 - iii) グレード4の水腎症が長期間

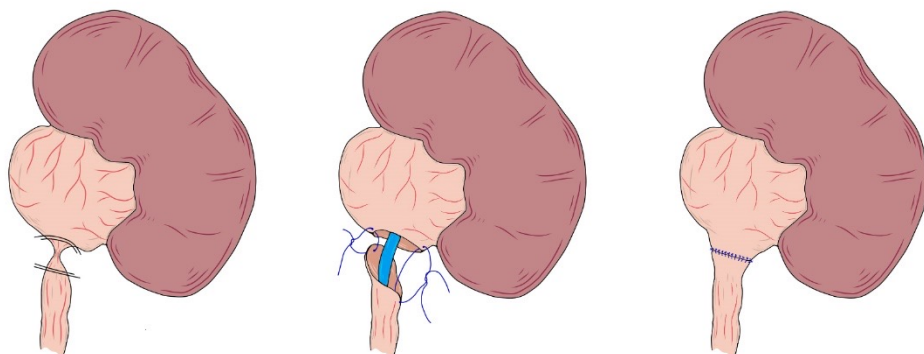
症状のない腎盂尿管移行部狭窄症の治療

医学研究所北野病院 小児外科



* 小児先天性水腎症（腎盂尿管移行部通過障害）の診療手引き2016から

手術（腎盂形成術）……尿管の狭い部分を切除してつなぎなおします



手術は、体格に応じて開腹手術、腹腔鏡手術、ロボット支援手術で行います。手術時にステントというチューブを腎盂と膀胱の間に留置します。ステントは、術後2か月頃に膀胱鏡で抜去します。

手術後も定期的に診察・検査を行っていきます。術後に水腎症が改善するのには時間がかかります。